

株式会社ATグループ



2024年度 (2024年4月～2025年3月) 環境経営レポート

グループ SDGs 包括目標



発行:2025年7月31日

AT group

《 目 次 》

1. 組織の概要	1
2. 認証の対象範囲	2
(1) エコアクション 2.1 の対象範囲	
(2) 環境管理最高責任者および 環境管理統括責任者	
(3) 2024年度エコアクション 2.1 推進体制・組織図	
(4) 推進体制の役割・権限・責任	
3. 環境経営方針	5
(1) A Tグループ環境基本方針	
(2) 具体的な推進事項	
4. 2024年度 環境経営計画	6
5. 環境経営目標および実績評価	7
(1) ATグループ全体	
(2) 株式会社ATグループ	
6. 環境経営の取組結果と評価	9
7. 環境関連法規制の遵守および評価	13
(1) 適用となる環境関連法規	
(2) 環境関連の法規違反・苦情の有無	
8. 代表者による全体評価と見直し	14
9. 2025年度の環境経営計画	15
(1) 環境経営目標	
(2) CO ₂ 削減に向けた取組事項	
(3) 2024年度エコアクション 2.1 推進体制・組織図	
【参考資料】	
2024年度グループ事業会社の取組結果	19

1. 組織の概要

- (1) 事業所名および代表者
株式会社 A T グループ
代表取締役社長 山口 真史



- (2) 所在地
〒466-0057
愛知県名古屋市昭和区高辻町 6 番 8 号
ATG南館 8 階

- (3) 事業活動の内容

下記の会社の株式を保有し、その会社の経営管理およびそれに付帯する業務

《エコアクション 2.1 認証取得事業会社》

- ・ 愛知トヨタEAST株式会社
- ・ 愛知トヨタWEST株式会社
- ・ トヨタ L & F 中部株式会社
- ・ 株式会社トヨタレンタリース愛知
- ・ 愛知スズキ販売株式会社
- ・ 株式会社アトコノ株式会社トランサット
- ・ 愛知クレジットサービス株式会社
- ・ トヨタ情報システム愛知株式会社
- ・ トヨタホーム愛知株式会社
- ・ 株式会社 A T ビジネス
- ・ A T グループ健康保険組合
- ・ 株式会社ATグループ

- (4) 事業の規模 (2025年 3月 ※連結値)
- | | |
|------|------------|
| 売上高 | 444,783百万円 |
| 従業員数 | 6,947人 |

2. 認証の対象範囲

(1) エコアクション 2.1 対象範囲

- 事業活動：グループ会社全体の経営戦略立案・各社の経営統括と運営、新車・中古車の販売、自動車の整備・修理、産業車両・物流システムの販売、情報システム開発・運用、旅行代理店業、飲食業、グループ各社の管理委託業務

	会社名(略称)	拠点名	主な事業または用途
ATG南館	(株)ATグループ (ATG)	本社	グループ各社の経営管理
	愛知トヨタEAST(株) (ATE)	本社	自動車販売拠点の統括管理
	愛知トヨタWEST(株) (ATW)	本社	自動車販売店の統括管理
		THE CROWN 愛知高辻	自動車販売
	トヨタL&F中部(株) (LF)	本社	産業車両・物流システム販売拠点の統括管理
	(株)トヨタレンタリース愛知 (RA)	本社	自動車レンタル・カーシェアリング
	トヨタ情報システム愛知(株) (TISA)	名古屋事業所	システム開発
ATG北館	(株)ATビジネス (ATB)	本社	グループ各社の関係業務
	愛知トヨタWEST(株) (ATW)	高辻店	自動車販売
	—	—	会議室

会社名(略称)	拠点数	会社名(略称)	拠点数
愛知トヨタEAST(株) (ATE)	95	愛知トヨタWEST(株) (ATW)	106
トヨタL&F中部(株) (LF)	28	(株)トヨタレンタリース愛知 (RA)	71
(株)トヨタホーム愛知 (HA)	16	愛知スズキ販売(株) (AS)	17
(株)アトコ/(株)トランサット (ATK/TS)	17/3	愛知クレジット(株) (AC)	1
トヨタ情報システム愛知(株) (TISA)	2	(株)A Tビジネス (ATB)	5
A Tグループ健康保険組合 (健保)	1		

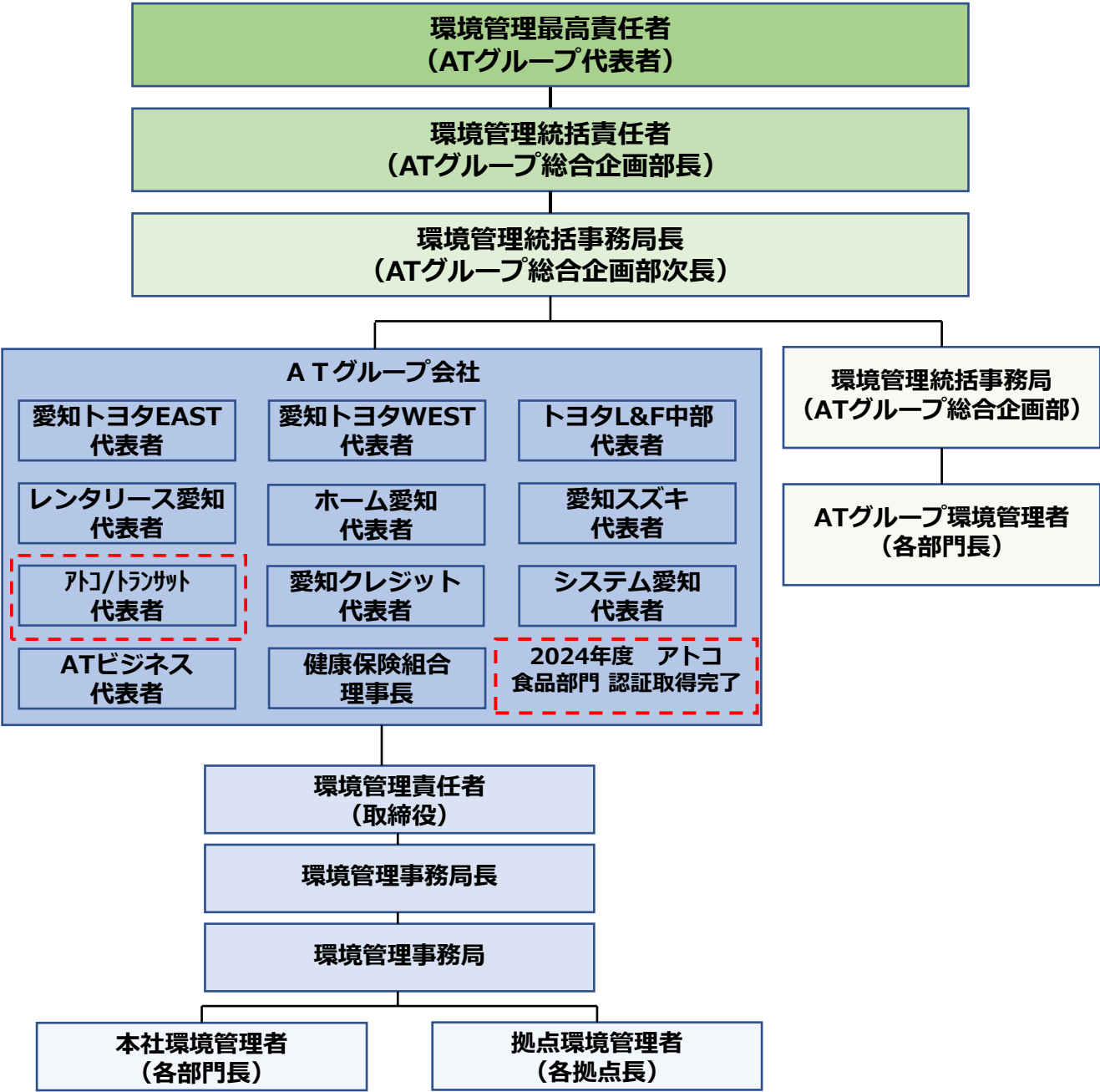
※2024年10月 アトコ食品部門認証取得

(2) 環境管理最高責任者および環境管理統括責任者

環境管理最高責任者：山口 真史

環境管理統括責任者：家永 博文

(3) 2024年度 エコアクション 2.1 推進体制・組織図



(環境管理事務局 担当者)
(株)ATグループ 総合企画部 総合企画課
(連絡先) 052-626-4389 子安 芳嗣

(4) 推進体制の役割・権限・責任

グループ全体の推進に関わる役割・責任・権限	
環境管理最高責任者	・環境経営に関する統括責任
環境管理統括責任者	・環境経営に関する統括責任 ・環境推進の実施に必要な人、設備、費用、時間を準備 ・環境管理統括事務局長を指名 ・環境方針の策定、見直しおよび全従業員への啓蒙 ・環境経営レポートの報告 ・環境目標、環境活動計画を報告 ・全体の評価と見直しを実施
環境管理統括事務局長	・環境推進体制の構築、実施、管理 ・環境関連法規等取りまとめ表を承認 ・環境経営レポートの確認 ・環境目標、環境活動計画を確認
環境管理統括事務局	・環境管理統括事務局長の補佐、会議の事務局 ・環境負荷および環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等の取りまとめ表を作成し遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開

各社の推進に関わる役割・責任・権限	
代表者	・環境経営に関する統括責任
環境管理責任者	・環境経営に関する統括責任 ・環境推進の実施に必要な人、設備、費用、時間を準備 ・環境管理統括事務局長を指名 ・環境方針の策定、見直しおよび全従業員への啓蒙 ・環境経営レポートの報告 ・環境目標、環境活動計画を報告 ・全体の評価と見直しを実施
環境管理事務局長	・環境推進体制の構築、実施、管理 ・環境関連法規等取りまとめ表を承認 ・環境経営レポートの確認 ・環境目標、環境活動計画を確認
環境管理事務局	・環境管理事務局長の補佐、会議の事務局 ・環境負荷および環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等の取りまとめ表を作成し遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成
環境管理者	・自拠点（部門）における環境方針の周知 ・自拠点（部門）における環境推進活動の実施 ・自拠点（部門）の従業員に対する教育訓練の実施 ・自拠点（部門）に関連する環境活動の報告、記録の作成 ・自拠点（部門）の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決定事項を守り、自主的かつ積極的に環境活動へ参加

3. 環境経営方針

(1) A Tグループ環境基本方針

A Tグループは、地域に密着した企業として、あらゆる事業活動に伴う環境負荷を低減することで環境保全に努めるとともに、積極的な環境投資や従業員の環境意識向上を図ることにより、「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の実現に寄与します。

- ◆環境関連法令の遵守
- ◆積極的な環境負荷低減活動
- ◆パートナーを巻き込んだ環境活動推進
- ◆環境教育の持続的な実施
- ◆環境関連情報の開示

2015年4月22日制定
2023年3月17日改正
株式会社A Tグループ
代表取締役社長 山口 真史

(2) 具体的な推進事項

環境関連法令の遵守

- ・環境関連法規制、条例を定期的に確認し遵守します

積極的な環境負荷低減活動

- ・エネルギー使用量、CO₂排出量、プラスチック製品の排出削減に取り組みます

パートナーを巻き込んだ環境活動推進

- ・お客さまやお付き合いのある協力会社のみなさまにも私たちの活動をご理解いただきながら活動を推進します

環境教育の持続的な実施

- ・教育プログラムによる従業員教育を実施します

環境関連情報の開示

- ・環境活動に係る情報についてHP等を通じて開示します

4. 2024年度 環境経営計画

(1) 環境経営目標

① 環境法令の遵守

- ・環境関連法令の改正情報についてWEBサービスを使用し定期的に監視する
- ・法令改正情報を随時伝達し情報共有する

② CO₂排出量の削減

《電力使用量の削減》

- ・節電啓蒙ポスターの掲示
- ・不要照明の消灯
- ・室内温度を基準とした空調設定（夏季：28℃・冬季：20℃）
- ・クールビズ、ウォームビズの推進

《燃料使用量の削減》

- ・社有車全てエコカーを使用
- ・エコドライブの推進

③ 廃棄物排出量の削減

- ・各所ごみ箱の設置数を制限し、発生抑制に努める
- ・ごみ分別廃棄ルールを定め、分別廃棄を実施
- ・建設廃棄物排出量の削減及び再資源化率の向上

④ 水使用量の削減

- ・手洗い時の流し放しをしない
- ・施設設備は節水タイプを優先して使用

⑤ リサイクルの推進

- ・古紙は品目別に分別廃棄し、リサイクル可能な回収業者に委託
- ・資源ごみ（びん、缶、ペットボトル）はリサイクル可能な回収業者に委託

⑥ 社会貢献活動の推進

- ・毎月1回、地域貢献として近隣の清掃活動を実施
- ・地域への貢献活動を積極的に実施

⑦ 環境教育の実施

- ・グループ統一、環境マネジメント「EMSファイル」を活用した包括的な管理を実施
- ・環境教育ツールを活用し、従業員教育を継続的に実施

⑧ 次世代自動車の推進

- ・低炭素社会へ貢献するため、次世代自動車の使用および販売を推進
（次世代自動車＝HEV・PHEV・BEV・FCEV）
- ・お客さまへ自動車使用に関わる「環境影響」をご説明し、次世代自動車を率先販売

＜EA21認証拡大途中であるため、拡大が完了する2024年度まで記載の活動を継続する

5. 環境経営目標および実績評価

(1) A Tグループ全体

EA21環境経営 取り組み項目			基準年度実績	年度目標			2024年度実績	
			2019年度	2024年度	2025年度	2026年度		
二酸化炭素 排出量の削減	〔目標値設定基準率〕			基準年度 実績値比			実績	対目標比
	1%削減							
	エネルギー使用量 (原油換算値)	KI	13,077	12,946	12,946	12,946	15,127	115.0%
	電気（※1）	kWh	39,020,826	38,630,617	38,630,617	38,630,617	38,914,475	99.7%
	都市ガス	m³	693,611	686,675	686,675	686,675	586,363	85.4%
	LPG	m³	141,781	140,363	140,363	140,363	98,180	69.2%
	ガソリン(※2)	L	3,881,650	3,881,650	3,842,833	3,842,833	3,881,977	—
	軽油(※2)	L	1,003,142	1,003,142	993,110	993,110	1,003,142	—
	二酸化炭素排出量	t-CO₂	26,179	26,094	26,094	26,094	29,052	111.0%
廃棄物排出量 の削減 (※3)	〔目標値設定基準率〕		基準年度	対前年			実績	対目標比
			2023年度	1%削減				
	一般廃棄物	t	860	851	851	851	832	96.7%
	産業廃棄物	t	9,200	9,108	9,108	9,108	8,436	91.7%
水使用量 の削減	〔目標値設定基準率〕			基準年度 実績値比			実績	対目標比
	1%削減							
	水使用量	m³	222,641	220,415	220,415	220,415	173,161	77.8%
化学物質 の削減	化学物質については、数値目標設定はしないが、PRTR第1種特定物質を含まない製品へ順次切替えていく							
古紙資源化 の推進	〔目標値設定基準率〕			再資源化			実績	対目標比
	古紙資源化率	%		100	100	100	100	—
エコカー推販 (自動車販売 全体) (※4)	〔目標値設定基準率〕			基準年度 実績比			実績	対目標比
	1%増							
	販売比率	%	40.9	41.9	41.9	41.9	48.5	115.8%

CO2排出量(t)：小数点第二位以下 四捨五入

《エネルギー使用量に関する統括》

- ・ガソリン使用量の増加などが影響し、CO₂排出量が増えている。グループ全体の活動量に比例して、CO₂排出量も増加したと考えられる。産業廃棄物の排出量が増えているが、2023年度にトヨタホーム愛知が認証取得し、2024年度から排出データが加算されたため増加。
- ※1 電気の「二酸化炭素排出量」はトヨタエナジー排出係数を使用（2024年度 0.4024kg-CO₂/kWh）を使用。
- ※2 ガソリン、軽油使用量については、営業社員の使用量も含め算定するよう変更したため、2024年度を基準年度とする。
- ※3 「一般廃棄物・産業廃棄物排出量」の削減については、データが集約可能になった2023年度を基準とする。
- ※4 「エコカー販売」はグループ自動車販売会社(ATE/ATW/AS)が対象。（エコカー：HEV・PHEV・BEV・FCEV）

(2) 株式会社ATグループ (主な業務：グループ各社の経営管理 対象拠点数：1)

EA21環境経営取り組み項目		単位	年度	使用量	対前年	CO ₂ 排出量 (t)
二酸化炭素 排出量の削減	エネルギー使用量 (原油換算値)	kl	2023	422	112.8%	
			2024	476		
	電気	kWh	2023	1,259,361	112.7%	503.3
			2024	1,419,009		446.5
	都市ガス	m ³	2023	30,590	113.3%	68.2
			2024	34,666		77.1
	LPG	m ³	該当なし			
	ガソリン	L	2023	66,862	101.6%	154.8
			2024	67,952		157.6
	軽油	L	該当なし			
	灯油	L	該当なし			
	水道	m ³	2023	10,424	91.5%	5.6
			2024	9,533		5.5
	二酸化炭素排出量合計	t-CO ₂	2023		93.8%	731.9
2024				686.7		

CO₂排出量(t)：小数点第二位以下 四捨五入

《プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量》
※産業廃棄物管理票（マニフェスト）を用いて前年度と今年度の排出量を記載（t）

	2023年度	2024年度
プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量	28.1	25.6

《エネルギー使用量に関する統括》

- ・ 水道以外、各項目の使用量は前年度より増加している。事業活動量の増加に伴い使用量が増えたと考えられるので、今後の削減対策をしっかりと検討・対応していく。
- ※ 1 電気の「二酸化炭素排出量」はトヨタエナジー排出係数を使用（2024年度 0.4024kg-CO₂/kWh）を使用。
- ※ 2 ガソリン、軽油使用量については、2019年度以降に旧AT/LF/RAが参入したことや4販社統合による組織再編もあり人員が増えたことを勘案し基準年度を2023年度とする。
- ※ 3 「一般廃棄物・産業廃棄物」については、ATグループ全体にあわせて基準年度を2023年度とする

6. 環境経営の取組結果と評価

★エコアクション21審査

- ・2024年9月10日～14日の5日間で「エコアクション21外部審査」を実施しました。
- ・エコアクション21中央事務局判定会議においてATグループは「認証継続」の判定を受けました。
- ・「認証継続」の判定は受けましたが、指摘事項もいただいております、これらの対応を実施しました。

健保会館事業会社名	2024年度認証取得状況	サイト数
ATグループ	本社	1
愛知トヨタEAST	本社および全拠点	96
愛知トヨタWEST		106
トヨタL&F中部		28
トヨタレンタリース愛知		71
トヨタホーム愛知		16
愛知スズキ		17
アトコ/トランサット		17/3
愛知クレジット	本社	1
システム愛知	本社および全拠点	2
ATビジネス		6
健康保険組合	健保会館	1

【指摘事項】

『① 廃棄物置場の法定掲示板の未設置 / ② 浄化槽の法定点検・清掃の未実施』

- ①「廃棄物処理法」では、産業廃棄物置場に規定の掲示内容や大きさが決められた法定掲示板の設置が義務づけられている。一部拠点において、掲示板の未設置箇所の不備が発見された。
- ②「浄化槽法」では、浄化槽が設置されている施設について、年1回の検査（11条検査）清掃、点検（規模による）の実施が定められている。1拠点において、いずれの項目も未実施であることが明らかになった。

【対応内容】

「指摘事項」の①・②共に、法令で定められている事項を速やかに実施するよう指示し、対応処置をいたしました。グループ各社においても、同様な事案が発生していないか確認を行うとともに、注意喚起の指示をいたしました。

6. 環境経営の取組結果と評価

★ 排出事業者による産廃処理状況の確認と実施

- ・愛知県の「廃棄物の適正な処理の促進に関する条例」では、排出事業者処理委託先への年1回の現地確認が義務付けられていることから、A Tグループ各社が処理委託しているすべての産業廃棄物処理業者への現地確認を実施しました。
- ・確認結果は現地写真とともに報告書へまとめ、A Tグループと各事業会社にて共有を図っています。



▶ 「現地確認報告書」と現地確認の様子

★ 油水分離槽を有する拠点での「水質検査」実施

- ・「水質汚濁防止法」「下水道法」の遵守状況を確認する目的で、油水分離槽を有するグループ事業会社の全拠点にて「水質検査」を実施しました。
- ・水質検査を実施した結果、基準値を逸脱している拠点はありませんでした。
- ・結果は「環境ポータルサイト」に掲載し「見える化」を図っています。



▶ 拠点の「油水分離槽」最終層から採水している様子と測定結果の画面

拠点名	項目	測定値	基準値	判定
工場A	油分	1.2	1.0	合格
工場B	油分	0.8	1.0	合格
工場C	油分	1.5	1.0	合格

★ 整備工場を有する拠点での「騒音測定」実施

- ・「騒音規制法」の遵守状況を確認する目的で、整備工場を有するグループ事業会社の全拠点にて「騒音測定」を実施しました。
- ・測定は業務稼働時間内に近隣住居に近い位置で行いましたが、基準値を逸脱した拠点はありませんでした。
- ・結果は「環境ポータルサイト」に掲載し「見える化」を図っています。



▶ 拠点の敷地境界で騒音想定を実施している様子 と測定結果画面

拠点名	項目	測定値	基準値	判定
工場A	騒音	55.0	55.0	合格
工場B	騒音	52.0	55.0	合格
工場C	騒音	58.0	55.0	合格

6. 環境経営の取組結果と評価

★ 板金塗装拠点への定期監査を実施

- ・環境関連法令や労働安全衛生法の法令遵守状況を確認する目的で、板金・塗装業務を行うグループ事業会社の全拠点にて、定期監査を実施しました。
- ・塗料等や危険物管理の運用状況について現地調査を行った結果、全拠点で適正運用されていることを確認しました。

▶ 拠点内に掲示されている法定看板と危険物の保管状況



★ EMS推進連絡会の定期開催

- ・四半期毎に、グループ事業会社の環境担当者が一同に会し、環境法令の改正状況、各社の環境活動の進捗状況や環境事故に関する情報共有を行う会議を開催しました。
- ・会議はタブレット端末を使用し、ペーパーレスで実施しました。

▶ タブレット端末に投影した会議資料



★ 環境ポータルサイトの運用

- ・すべてのグループ事業会社を対象にエネルギー使用量や法令に関する情報など、環境に関する情報の見える化を図っています。
- ・今後はCO₂削減を推進していくための情報を掲載する等、コンテンツの充実を図っていく予定です。

▶ 環境ポータルサイトのTOPページと拠点のエネルギー使用量の表示画面



6. 環境経営の取組結果と評価

★ 環境教育ツールの活用

- ・環境に関する情報や取り組みの伝達ツールとして「e-information」を発行し、グループ全社に展開しています。
- ・グループ統一の取り組みや考え方を従業員一人ひとりに伝えるため、環境教育冊子を全社員に配布しています。また、業務に関わる環境法令を解説する「法令一覧」を管理職へ配布しています。



▶改訂した環境教育冊子「私たちができる職場の環境活動」

★ 環境マネジメント「EMSファイル」の活用

- ・環境情報を集約する「EMS運用ファイル」と環境関連法令に関わる記録類を集約する「記録・保管ファイル」を用いて、帳票類の一元管理を行っています。
- ・2冊のファイルはエコアクション21の認証を取得している全ての事業会社の拠点に配備しています。



▶グループ統一で使用している「EMSファイル」

★ まちなかクリーンデーの実施

- ・毎月第2金曜日はATグループ統一の「まちなかクリーンデー」として、拠点周辺だけでなく、近隣まで範囲を広げ清掃活動を実施しています。

▶高辻地区の「まちなかクリーンデー」の様子



7. 環境関連法規則の遵守状況および評価

(1) ATグループ全体

法令等の名称		要求事項	該当の有無	評価
廃棄物	廃棄物処理法	産業廃棄物の適切な処理	○	○
		電子マニフェスト発行状況の報告	○	○
		収集運搬業者・処理委託業者との契約締結	○	○
	愛知県および名古屋市、廃棄物の適正な処理に関する条例	廃棄業者への現地確認実施	○	○
		現地確認の記録保管（5年間保管）	○	○
大気	フロン排出抑制法	定期点検、フロンガスの適正な回収	○	○
	自動車NOX・PM法	自動車から排出される窒素酸化物等の排出抑制に努める	○	○
水質	水質汚濁防止法	貯油施設の破損当、事故時の措置	○	○
	下水道法	下水道への不適物放流禁止の遵守	○	○
	浄化槽法	設置または変更時の届出	○	○
		保守点検	○	△
		年1回、水質に関する定期検査を受ける（11条検査）	○	△
騒音・振動	騒音規制法	規制基準の遵守と騒音発生源となる特定施設設置時の届出	○	○
	振動規制法	規制基準の遵守と振動発生源となる特定施設設置時の届出	○	○
再資源化	自動車リサイクル法	自動車所有者の責務遂行	○	○
		顧客から廃棄依頼された自動車・使用済車の適正な処理	○	○
	家電リサイクル法	特定家庭用機器（テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機等）の適正な廃棄	○	○
	建築リサイクル法	建設や解体工事で発生する廃材の分別・再資源化・廃棄	○	○
	食品リサイクル法	食品廃棄物の発生の抑制・減量・再生利用・適正な廃棄	○	○
	プラスチック資源循環法	プラスチック資源の排出抑制と分別、再資源化	○	○
化学物質 危険物	PRTR法（化管法）	指定化学物質等の取扱い等自主管理	○	○
	消防法	油脂類保管量の遵守	○	○
		保管方法、設備や掲示物表示の遵守	○	○
	労働安全衛生法	化学物質等の有害性等の調査および健康障害防止措置	○	○
エネルギー	省エネルギー法	連鎖化事業所としての特定事業者指定と削減計画の策定	○	○

(2) 環境関連の法規違反、苦情の有無

- ・過去3年間、環境関連法規の違反、関係当局からの違反等の指摘はありませんでした。
- ・水質検査で、排水の一部項目で基準超えが判明した事業場があり、再検査を実施しました。

8. 代表者による全体評価と今後に向けて

◇ 環境マネジメント活動について

2024年度のエコアクション21審査において、ATグループ内で認証未取得であった株式会社アトコの食品部門が認証取得したことにより、2018年のエコアクション21の参加から6年を経て、ATグループ全事業会社・全部門の認証取得が完了しました。この節目にあたる本年度を新たなスタート地点と捉え、これまで以上にお客さまや地域社会から評価いただける企業を目指して、環境への取り組みを推進してまいります。

◇ 環境法令の遵守状況

ATグループはさまざまな業態の事業会社を有していますが、何よりもコンプライアンスを最優先事項として業務を進めています。その中でも、グループの中核をなす車両販売部門（トヨタ・スズキ・産業車両）では、油脂類や塗料類など環境負荷の高い危険物を取り扱うため多くの環境関連法令が関わっています。グループ内で法令違反を発生させることのないよう、以下の取り組みを進めています。

- ・ **定期的な現地調査・監査**：全グループ事業会社を対象に、危険物の管理状況や廃棄物の排出状況などの定期的な現地調査や監査を行い、法令違反の未然防止に努めています。
- ・ **環境負荷への対策**：油水分離槽を有する拠点では、外部委託業者による水質検査や定期清掃を実施し、適正な維持管理を行っています。また、整備工場のある拠点では、従業員自らが定期的に騒音測定を行い、周辺環境への影響を最小限に抑えるよう努めています。
- ・ **環境データの公開**：EMS活動で得られた情報は「環境経営レポート」や「環境ポータルサイト」で公開しています。

上記の取り組みを行った結果、2024年度において行政や関係当局からの環境法令に関する違反等の指摘を受けることはありませんでした。今後もATグループと事業会社が一体となり、コンプライアンス重視の姿勢で環境保全活動に取り組み、企業の社会的責任を果たしてまいります。

◇ 今後に向けて

今後、企業に対するCO₂削減や廃プラスチック削減などの環境課題対応は、企業を評価する指標において高いウェイトを占めると予想されます。ATグループは、これからもお客さまや地域社会から選ばれる企業であり続けるべく、環境問題に真摯に向き合いながら活動を進め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2025年3月31日
株式会社ATグループ
代表取締役社長 山口 真史

9. 2025年度 環境経営計画

(1) 環境経営目標

① 環境法令の遵守

- ・ 環境関連法令の改正情報についてWEBサービスを使用し定期的に監視する
- ・ 法令改正情報をグループ事業会社へ速やかに伝達する

② カーボンニュートラルの推進

- ・ 環境ポータルサイトでエネルギー使用量やCO₂排出量を定期的に監視する
- ・ エネルギー使用量削減に向けた啓蒙活動を推進する
- ・ クリーンエネルギー導入に向けた検討を進める

③ 廃棄物排出量の削減とリサイクルの推進

- ・ 従業員へごみの分別廃棄ルールを周知徹底する
- ・ 古紙や資源ごみ（びん・缶・ペットボトル）はリサイクル可能な業者へ回収を委託する
- ・ 廃プラスチックの排出量削減と再利用の推進を図る
- ・ 建築廃棄物の削減及び再資源化率向上を図る
- ・ 食品リサイクル率の向上を図る（2025年度：53%）

④ 地域パートナーシップ活動の推進

- ・ 毎月1回「まちなかクリーンデー」による近隣の清掃活動を実施する
- ・ 地域の環境保全活動へ積極的に参加する

⑤ 環境関連資料の管理と環境教育の実施

- ・ グループ統一の環境ファイル（運用、記録・保管）を活用した包括的管理の実施
- ・ 「環境ポータルサイト」を活用し、従業員への情報提供を行う
- ・ 環境教育ツール（環境冊子・e-information）による従業員教育を継続的に実施する

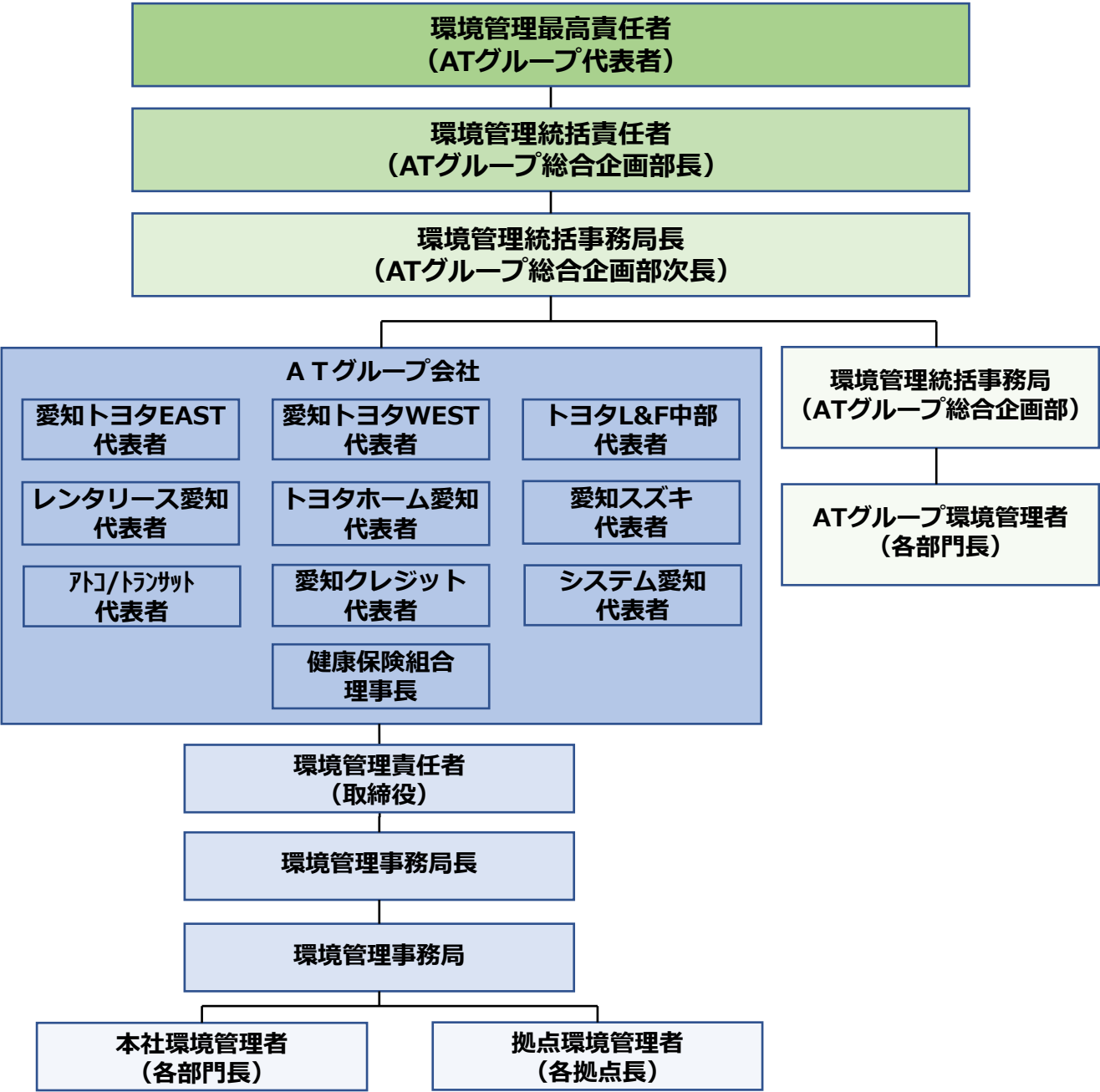
⑥ エコカーの普及推進

- ・ カーボンニュートラルの実現に貢献するため、社用車のエコカー導入を推進する
- ・ お客さまへ自動車使用に関わる「環境影響」をご説明し、エコカーを積極推販する
※エコカー＝HEV・PHEV・BEV・FCEV

(2) CO₂削減に向けた取組事項グループ統一取組事項「CO₂削減に向けた3つの“カエル”活動」

カエル項目	取組事項	対象			取組時期		該当の有無
		会社	拠点	従業員	2025年度	中長期	
モノを替える	省エネ機器の計画的導入	○	○		○		照明のLED化 省エネエアコンの導入 トイレ設備のリフォーム
	社有車の環境車両比率拡大 (BEV,PHEV,HEV,FCEV)	○				○	ガソリン車・軽油車をBEV・ PHEV・HEV・FCEVへ切替
	拠点への自家消費型 太陽光発電導入	○				○	新設拠点の建築時に導入を検討 可能であれば既存拠点への導入も進 める
意識と行動 を変える	エネルギー使用量の 対前年1%削減	○	○	○	○		不要な照明清灯の徹底 働き方改革で退社時間を早める エアコン設定温度 (夏28℃ 冬20℃)の徹底
	ペーパーレスの推進	○	○	○	○		業務見直しによる紙使用量 コピー量の削減 リサイクルコピー用紙への切替
自然に 還る	環境活動への参加	○			○		植林事業等の環境活動支援
	再生エネルギーの導入	○				○	電力会社から販売されている再生エ ネルギー (太陽光,水力,風力等から 発電したクリーン電力を購入)

(3) 2025年度 エコアクション2.1 推進体制・組織図



(環境管理事務局 担当者)
(株)ATグループ 総合企画部 サステナブル戦略課
(連絡先) 052-626-4389 子安 芳嗣

【参考資料】

2024年度
グループ事業会社の取組結果

※活動取組事例は各社環境経営レポートから抜粋



◆愛知トヨタEAST株式会社 (主な業務：車両販売 対象拠点数：96)

EA21環境経営取り組み項目		単位	年度	使用量	対前年	CO2排出量 (t)
二酸化炭素 排出量の削減	エネルギー使用量 (原油換算値)	kl	2023	4,233	111.0%	
			2024	4,698		
	電気	kWh	2023	12,517,825	101.2%	5,307.6
			2024	12,670,905		5,093.7
	都市ガス	m³	2023	112,425	95.2%	250.7
			2024	106,978		238.6
	LPG	m³	2023	62,299	88.6%	186.9
			2024	55,226		165.7
	ガソリン	L	2023	781,062	155.5%	1,812.1
			2024	1,214,505		2,817.7
	軽油	L	2023	107,699	151.9%	277.9
			2024	163,597		422.1
	灯油	L	2023	520	47.9%	1.3
			2024	249		0.6
	水道	m³	2023	36,753	149.4%	19.8
			2024	54,900		29.6
	二酸化炭素排出量合計	t-CO2	2023		111.6%	7,856.3
			2024			8,768.0

CO2排出量(t)：小数点第二位以下 四捨五入

《プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量》
※産業廃棄物管理票（マニフェスト）を用いて前年度と今年度の排出量を記載（t）

	2023年度	2024年度
プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量	947.7	1,267.4

◆ 愛知トヨタWEST株式会社 (主な業務：車両販売 対象拠点数：106)

EA21環境経営取り組み項目		単位	年度	使用量	対前年	CO ₂ 排出量 (t)
二酸化炭素 排出量の削減	エネルギー使用量 (原油換算値)	kl	2023	5,258	111.1%	
			2024	5,841		
	電気	kWh	2023	15,320,726	99.6%	6,496.0
			2024	15,252,746		6,131.6
	都市ガス	m ³	2023	378,119	101.5%	843.2
			2024	383,620		855.5
	LPG	m ³	2023	30,838	95.3%	92.5
			2024	29,393		88.2
	ガソリン	L	2023	834,313	169.9%	1,935.6
			2024	1,418,104		3,290.0
	軽油	L	2023	97,254	180.1%	250.9
			2024	175,168		451.9
	灯油	L	2023	739	48.6%	1.8
			2024	359		0.9
	水道	m ³	2023	64,875	61.7%	35.0
			2024	40,034		21.6
	二酸化炭素排出量合計	t-CO ₂	2023		112.3%	9,655.0
			2024			10,839.7

CO₂排出量(t)：小数点第二位以下 四捨五入

《プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量》
※産業廃棄物管理票（マニフェスト）を用いて前年度と今年度の排出量を記載（t）

	2023年度	2024年度
プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量	1572.2	1756.6

◆ 愛知トヨタWEST株式会社

《環境活動取組事例》

1. 「ATG環境ガイドライン」の遵守

- ・重点管理設備日常点検確認シートを用いてエンジニアリーダーが毎週1回点検を行い、マネージャーが確認を実施。（不具合や事故の未然防止）

2. 「水質検査・騒音測定」の実施

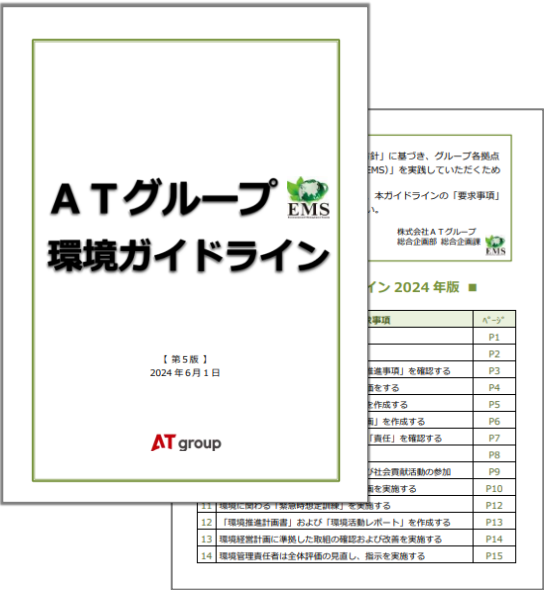
- ・水質検査：拠点からの最終排水が、法定基準値を満たしているかを専門業者に委託し、基準値超過があった拠点も再調査を実施。

3. 「緊急時想定訓練」の実施

- ・自然災害・人災によるオイル漏えいに関する対応方法の確認を実施。
 - ▶ 9月：実際に工場でオイルがこぼれて漏えいしたと想定し、必要な資材の確認および使用方法、保管量の確認を行った。
 - ▶ 3月：水害時におけるオイル漏えいを想定し、店舗特性を踏まえ、どこを優先的に抑えていくかを机上にて議論した。

4. 「コンプライアンス教育」の実施

- ・法令順守の手引き、TMC環境ガイドライン、e-information 等を使用して教育を実施。



1. 水質検査結果一覧

表-1 2024年度水質検査結果一覧

項目	検査項目	測定項目	測定値	基準値	結果	備考
1. 工場内排水	1.1 工場内排水	1.1.1 工場内排水	1.1.1.1 工場内排水	1.1.1.1 工場内排水	1.1.1.1 工場内排水	1.1.1.1 工場内排水
	1.2 工場内排水	1.2.1 工場内排水	1.2.1.1 工場内排水	1.2.1.1 工場内排水	1.2.1.1 工場内排水	1.2.1.1 工場内排水
	1.3 工場内排水	1.3.1 工場内排水	1.3.1.1 工場内排水	1.3.1.1 工場内排水	1.3.1.1 工場内排水	1.3.1.1 工場内排水
	1.4 工場内排水	1.4.1 工場内排水	1.4.1.1 工場内排水	1.4.1.1 工場内排水	1.4.1.1 工場内排水	1.4.1.1 工場内排水
	1.5 工場内排水	1.5.1 工場内排水	1.5.1.1 工場内排水	1.5.1.1 工場内排水	1.5.1.1 工場内排水	1.5.1.1 工場内排水
	1.6 工場内排水	1.6.1 工場内排水	1.6.1.1 工場内排水	1.6.1.1 工場内排水	1.6.1.1 工場内排水	1.6.1.1 工場内排水
	1.7 工場内排水	1.7.1 工場内排水	1.7.1.1 工場内排水	1.7.1.1 工場内排水	1.7.1.1 工場内排水	1.7.1.1 工場内排水
	1.8 工場内排水	1.8.1 工場内排水	1.8.1.1 工場内排水	1.8.1.1 工場内排水	1.8.1.1 工場内排水	1.8.1.1 工場内排水
	1.9 工場内排水	1.9.1 工場内排水	1.9.1.1 工場内排水	1.9.1.1 工場内排水	1.9.1.1 工場内排水	1.9.1.1 工場内排水
	1.10 工場内排水	1.10.1 工場内排水	1.10.1.1 工場内排水	1.10.1.1 工場内排水	1.10.1.1 工場内排水	1.10.1.1 工場内排水
2. 工場外排水	2.1 工場外排水	2.1.1 工場外排水	2.1.1.1 工場外排水	2.1.1.1 工場外排水	2.1.1.1 工場外排水	2.1.1.1 工場外排水
	2.2 工場外排水	2.2.1 工場外排水	2.2.1.1 工場外排水	2.2.1.1 工場外排水	2.2.1.1 工場外排水	2.2.1.1 工場外排水
	2.3 工場外排水	2.3.1 工場外排水	2.3.1.1 工場外排水	2.3.1.1 工場外排水	2.3.1.1 工場外排水	2.3.1.1 工場外排水
	2.4 工場外排水	2.4.1 工場外排水	2.4.1.1 工場外排水	2.4.1.1 工場外排水	2.4.1.1 工場外排水	2.4.1.1 工場外排水
	2.5 工場外排水	2.5.1 工場外排水	2.5.1.1 工場外排水	2.5.1.1 工場外排水	2.5.1.1 工場外排水	2.5.1.1 工場外排水
	2.6 工場外排水	2.6.1 工場外排水	2.6.1.1 工場外排水	2.6.1.1 工場外排水	2.6.1.1 工場外排水	2.6.1.1 工場外排水
	2.7 工場外排水	2.7.1 工場外排水	2.7.1.1 工場外排水	2.7.1.1 工場外排水	2.7.1.1 工場外排水	2.7.1.1 工場外排水
	2.8 工場外排水	2.8.1 工場外排水	2.8.1.1 工場外排水	2.8.1.1 工場外排水	2.8.1.1 工場外排水	2.8.1.1 工場外排水
	2.9 工場外排水	2.9.1 工場外排水	2.9.1.1 工場外排水	2.9.1.1 工場外排水	2.9.1.1 工場外排水	2.9.1.1 工場外排水
	2.10 工場外排水	2.10.1 工場外排水	2.10.1.1 工場外排水	2.10.1.1 工場外排水	2.10.1.1 工場外排水	2.10.1.1 工場外排水
3. 工場外排水	3.1 工場外排水	3.1.1 工場外排水	3.1.1.1 工場外排水	3.1.1.1 工場外排水	3.1.1.1 工場外排水	3.1.1.1 工場外排水
	3.2 工場外排水	3.2.1 工場外排水	3.2.1.1 工場外排水	3.2.1.1 工場外排水	3.2.1.1 工場外排水	3.2.1.1 工場外排水
	3.3 工場外排水	3.3.1 工場外排水	3.3.1.1 工場外排水	3.3.1.1 工場外排水	3.3.1.1 工場外排水	3.3.1.1 工場外排水
	3.4 工場外排水	3.4.1 工場外排水	3.4.1.1 工場外排水	3.4.1.1 工場外排水	3.4.1.1 工場外排水	3.4.1.1 工場外排水
	3.5 工場外排水	3.5.1 工場外排水	3.5.1.1 工場外排水	3.5.1.1 工場外排水	3.5.1.1 工場外排水	3.5.1.1 工場外排水
	3.6 工場外排水	3.6.1 工場外排水	3.6.1.1 工場外排水	3.6.1.1 工場外排水	3.6.1.1 工場外排水	3.6.1.1 工場外排水
	3.7 工場外排水	3.7.1 工場外排水	3.7.1.1 工場外排水	3.7.1.1 工場外排水	3.7.1.1 工場外排水	3.7.1.1 工場外排水
	3.8 工場外排水	3.8.1 工場外排水	3.8.1.1 工場外排水	3.8.1.1 工場外排水	3.8.1.1 工場外排水	3.8.1.1 工場外排水
	3.9 工場外排水	3.9.1 工場外排水	3.9.1.1 工場外排水	3.9.1.1 工場外排水	3.9.1.1 工場外排水	3.9.1.1 工場外排水
	3.10 工場外排水	3.10.1 工場外排水	3.10.1.1 工場外排水	3.10.1.1 工場外排水	3.10.1.1 工場外排水	3.10.1.1 工場外排水

水質検査記録

◆ トヨタ L & F 中部株式会社 (主な業務：産業車両・物流機器販売 対象拠点数：28)

EA21環境経営取り組み項目		単位	年度	使用量	対前年	CO2排出量 (t)
二酸化炭素 排出量の削減	エネルギー使用量 (原油換算値)	kl	2023	1,462	105.2%	
			2024	1,538		
	電気	kWh	2023	2,765,547	107.5%	1,172.6
			2024	2,973,342		1,195.3
	都市ガス	m³	2023	2,111	98.7%	4.7
			2024	2,084		4.6
	LPG	m³	2023	552	96.0%	1.7
			2024	530		1.6
	ガソリン	L	2023	467,771	97.0%	1,085.2
			2024	453,777		1,052.8
	軽油	L	2023	337,842	99.8%	871.6
			2024	337,194		870.0
	灯油	L	2023	42,059	95.4%	106.0
			2024	40,123		99.9
	水道	m³	2023	19,783	121.5%	10.7
			2024	24,045		13.0
	二酸化炭素排出量合計	t-CO2	2023		99.5%	3,252.5
			2024			3,237.2

CO2排出量(t)：小数点第二位以下 四捨五入

《プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量》
※産業廃棄物管理票（マニフェスト）を用いて前年度と今年度の排出量を記載（t）

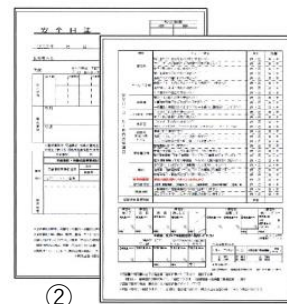
	2023年度	2024年度
プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量	232.6	263.5

◆ トヨタ L & F 中部株式会社

《環境活動取組事例》

1. 「法令順守確認」の実施

- ① PRO-up「安全衛生環境」「販売・サービス基本活動、コンプライアンス」「5S」のリストによる活動確認と「順法確認シート」による月度法令順守状況の監視チェックを継続実施。
- ② 「安全日誌」への項目追加と月度「安全衛生巡回チェックリスト」項目を変更。2025年度より運用を開始し、安全や法令に関する確認項目の強化を図った。



2. 「現場教育動画」の制作・展開

- 重大災害に繋がる「吊具」「充電器・電源コード」点検方法、取扱い手順等の動画を作成し「いつでも」「誰もが」確認できるよう、リスクの未然防止策として全社展開を実施。



3. 「法令に関わる対応」の実施

- ① 化学物質管理に伴う、防塵マスクのフィットテストや職場の危険性・有害性を「クリエイトシンプル」を使い評価を行いリスク低減措置対策を継続的に実施。
- ② 産廃業者への廃棄物引取り連絡の際、「誰が・いつ・どの業者」へ連絡したかを明確にするため、「産業廃棄物引取り依頼書」を作成し運用開始。



4. 「リチウムイオンバッテリー」の処理開始

- 電動ハンドパレットトラックに搭載されているリチウムイオンバッテリーの処理を開始。
- ▶ 実績：2024年度 59個処理



5. 「排水浄化装置」の導入

- ① 「大安営業所」に排水浄化装置を新設。
- ② 油水分離槽の油分改善対策として「バクテリア」投入による水質改善テストを3拠点で実施。▶ テスト拠点：名港・尾張旭・岐阜 営業所



◆ 株式会社トヨタレンタリース愛知 (主な業務：自動車レンタル 対象拠点数：71)

EA21環境経営取り組み項目		単位	年度	使用量	対前年	CO ₂ 排出量 (t)
二酸化炭素 排出量の削減	エネルギー使用量 (原油換算値)	kl	2023	454	98.0%	
			2024	445		
	電気	kWh	2023	1,338,550	95.6%	567.5
			2024	1,280,171		514.6
	都市ガス	m ³	2023	1,492	103.5%	3.3
			2024	1,544		3.4
	LPG	m ³	2023	3	0%	0.0
			2024	0		0.0
	ガソリン	L	2023	116,210	104.8%	269.6
			2024	121,821		282.6
	軽油	L	2023	5,346	58.4%	13.8
			2024	3,123		8.1
	灯油	L	該当なし			
	水道	m ³	2023	12,414	98.2%	6.7
			2024	12,186		6.6
	二酸化炭素排出量合計	t-CO ₂	2023		94.7%	860.9
2024				815.3		

CO₂排出量(t)：小数点第二位以下 四捨五入

《プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量》
※産業廃棄物管理票（マニフェスト）を用いて前年度と今年度の排出量を記載（t）

	2023年度	2024年度
プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量	11.7	8.0

◆ 株式会社トヨタレンタリース愛知

《環境活動取組事例》

1. 『電気使用量の削減』

- ・「照明設備のLED化」：19店舗の未LED化設備への設置を実施。施行見送り拠点を除き全数LED化完了。



※見送り対象点：小田井店（看板） / 志賀本通店（倉庫） / 一宮店 / 鶴舞店（看板）

2022 年	2023 年	2024 年	使用増減量（対前年）
1,548,871kwh	1,358,483kwh	1,280,171kwh	△78,312

2. 『社会貢献&再資源活動』

- ・「エコキャップ運動」：ペットボトルキャップを資源として活用することでポリオワクチンの寄付を行うと同時に、CO2排出削減にも繋げる活動を実施。



エコキャップ集計

	個数	重さ	CO2 削減量	860 個/人 ワクチン本数/人 ポリオワクチン
2022 年	57 期 90,733 個	181 kg	665 kg	106 本/人
2023 年	58 期 69,901 個	140 kg	512 kg	81 本/人
2024 年	59 期 54,720 個	109 kg	401 kg	64 本/人
直近三期 合計	215,354 個	430 kg	1578 kg	251 人分

重さ＝個数/500 CO₂ 削減量＝(個数/860)×6300/1000 ワクチン数＝個数/860

3. 『内部コミュニケーション』の実施

- ・毎月拠点内で環境に関するコミュニケーションを実施、当社TOPページ【業務報告】より入力を行い、全拠点で毎月開催。

環境コミュニケーション		作成日 2024年04月10日
実施期間(年/月)	実施回数(年/月)	最終報告日(年/月)
2024/04	1回	2024/04/10
実施内容(年/月)	実施内容(年/月)	実施内容(年/月)
4月	4月10日	4月10日
5月	5月10日	5月10日
6月	6月10日	6月10日
7月	7月10日	7月10日
8月	8月10日	8月10日
9月	9月10日	9月10日
10月	10月10日	10月10日
11月	11月10日	11月10日
12月	12月10日	12月10日

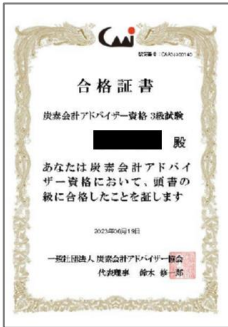
4. 『コピー用紙の使用削減』

- ・紙使用量の削減に努め、森林資源の保護CO2排出量の削減などに貢献。

2022 年	2023 年	2024 年	削減量（対2021 年）
3,567,500 枚	3,885,500 枚	3,840,000 枚	45,500 枚

5. 『炭素会計アドバイザー 3級資格』の習得推進

- ・2023年6月に事務局スタッフが合格。
- ・2024年度：リース営業部門の部課長が受験し、14名が合格。



6. 『その他取り組み』

- ・「騒音測定」 / 「排水水質検査」 / 「TMCへエネルギー使用量およびCO2削減量 報告」 / 「再資源フランチイズ」 / 「環境教育と年2回の環境訓練」

◆ 愛知スズキ販売株式会社 (主な業務：車両販売 対象拠点数：17)

EA21環境経営取り組み項目		単位	年度	使用量	対前年	CO ₂ 排出量 (t)
二酸化炭素 排出量の削減	エネルギー使用量（原油換算値）	kl	2023	590	102.2%	
			2024	603		
	電気	kWh	2023	1,489,488	102.0%	631.5
			2024	1,519,463		610.8
	都市ガス	m ³	2023	254	111.4%	0.6
			2024	283		0.6
	LPG	m ³	該当なし			
	ガソリン	L	2023	189,667	102.6%	440.0
			2024	194,684		451.7
	軽油	L	2023	38,468	103.5%	99.2
			2024	39,805		102.7
	灯油	L	2023	0	0%	0.0
			2024	20		0.0
	水道	m ³	2023	7,639	97.2%	4.1
			2024	7,427		4.0
	二酸化炭素排出量合計	t-CO ₂	2023		99.5%	1,175.4
2024				1,169.8		

CO₂排出量(t)：小数点第二位以下 四捨五入

《プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量》
※産業廃棄物管理票（マニフェスト）を用いて前年度と今年度の排出量を記載（t）

	2023年度	2024年度
プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量	67.3	66.1

◆ 愛知スズキ販売株式会社

《環境活動取組事例》

1. 「ATG環境ガイドライン」の遵守

- ・ATGガイドラインに沿って各設備および活動の点検を行い、結果は月ごとに記録。

本部管理用シート

フロン排出抑制法に基づく簡易点検表

2. 「省エネルギー法」対象の検証（電気・ガス・水道・燃料使用量の把握）

- ・各店舗は、毎月の「電気・ガス・水道・燃料使用量」を環境ポータルで随時確認。

《電気使用量》

《電気》

《燃料使用量》

3. 「廃棄物（産廃および一廃）」の分別管理

- ・資源化を目的とした分別BOXおよび機密書類回収BOXを設置。
- ▶ 紙やプラスチックについて、分別方法の周知と廃棄物の減量および 資源化（リサイクル）の取り組みを行った。



◆ 株式会社アトコ/トランサット (主な業務：車両回送 対象拠点数：17/3)

EA21環境経営取り組み項目		単位	年度	使用量	対前年	CO ₂ 排出量 (t)
二酸化炭素 排出量の削減	エネルギー使用量 (原油換算値)	kl	2023	568	102.6%	
			2024	583		
	電気	kWh	2023	949,383	98.5%	402.5
			2024	935,242		376.0
	都市ガス	m ³	2023	7,550	101.4%	16.8
			2024	7,659		17.1
	LPG	m ³	2023	5,556	105.2%	16.7
			2024	5,845		17.5
	ガソリン	L	2023	68,358	96.0%	158.6
			2024	65,645		152.3
	軽油	L	2023	253,989	108.5%	655.3
			2024	275,619		711.1
	灯油	L	2023	0	0%	0.0
			2024	21		0.1
	水道	m ³	2023	16,095	99.7%	8.7
			2024	16,042		8.7
	二酸化炭素排出量合計	t-CO ₂	2023		101.9%	1,258.6
			2024			1,282.7

CO₂排出量(t)：小数点第二位以下 四捨五入

《プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量》

※産業廃棄物管理票（マニフェスト）を用いて前年度と今年度の排出量を記載（t）

	2023年度	2024年度
プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量	2.2	14.7

《食品リサイクル率目標と実績》 2024年度目標：52% 結果：48.5%

項目	単位	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	合計
①発生量 ※1	kg	2,052.00	2,029.45	2,421.03	2,913.16	2,697.11	3,086.20	3,000.47	2,681.94	2,971.33	2,949.27	2,628.01	2,764.89	32,194.86
②-1処理費用・販売価格 ※2	円	93,082	91,098	89,560	89,381	87,991	89,843	88,644	91,114	91,868	93,613	87,186	108,186	1,101,566
②-2有価物量	kg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③発生抑制量	kg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
④再生利用量	kg	1,075.60	1,030.10	1,256.80	1,414.90	1,381.30	1,589.40	1,458.30	1,126.65	1,445.10	1,369.85	1,238.40	1,217.60	15,604.00
⑤熱回収量	kg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
⑥減量量	kg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
⑦再生利用等以外の量	kg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
⑧廃棄物としての処分量	kg	976.40	999.35	1,164.23	1,498.26	1,315.81	1,496.80	1,542.17	1,555.29	1,526.23	1,579.42	1,389.61	1,547.29	16,590.86
⑨再生利用等の実施率 ※3	%	52.4%	50.8%	51.9%	48.6%	51.2%	51.5%	48.6%	42.0%	48.6%	46.4%	47.1%	44.0%	48.5%

※1 ①=(④+⑤+⑥+⑦+⑧)
※2 販売価格 (有価物として売却した場合) はマイナス (－〇〇) で記載し、処理費用と販売価格の両方がある場合はこれを合算 (処理費用から販売価格を引き算) して記載してください。
※3 ⑨=(③+④+⑤×0.95+⑥) / (①+③)

◆ 株式会社アトコ/トランサット

《環境活動取組事例》

1. ATG環境ガイドラインの遵守

- ① グループ各社のガイドラインチェック：各設備および活動の点検。
- ② ATグループCSR・EMS作成の環境教育冊子の利用：社員教育。
- ③ 環境認証「エコアクション21」の継続審査：2024年度フード部門追加認証取得。

2. 空コンタクトケースとペットボトルキャップの再資源化・再利用化の促進

- ① 空コンタクトケース：「アイシティーecoプロジェクト」へ3.2kg寄付。
- ② ペットボトルキャップ：エコキャップ収集29,154個収集 CO₂排出量削減に貢献。



3. 騒音測定の実施（現状把握）

- ・FP高辻、SS高辻店で測定調査を実施：基準値越えは、幹線道路の車両通行が原因。



4. 水質検査の実施

- ・FP高辻、SS高辻店で油水分離槽の検査実施：2拠点ともに正常。

5. 拠点のLED化とエアコン交換の実施

- ・ATG西館1～3階の館内照明及び建屋周辺の外灯をLEDに交換。
- ・省エネ型のエアコンに交換。



6. 拠点のごみ分別化（プラスチックのリサイクル促進）

- ・(株)トランサット 名古屋営業所に廃プラスチック回収BOXを設置。



7. 廃棄予定のフォークリフトをリサイクル化

- ・(株)トランサット 名古屋営業所のフォークリフトを産廃処分ではなくリサイクル処分。

◆ トヨタホーム愛知株式会社 (主な業務：住宅施工・販売 対象拠点数：16)

EA21環境経営取り組み項目		単位	年度	使用量	対前年	CO ₂ 排出量 (t)
二酸化炭素 排出量の削減	エネルギー使用量 (原油換算値)	kl	2023	420	97.6%	
			2024	410		
	電気	kWh	2023	498,587	101.8%	211.4
			2024	507,416		204.0
	都市ガス	m ³	2023	247	291.1%	0.6
			2024	719		1.6
	LPG	m ³	2023	100	59.0%	0.3
			2024	59		0.2
	ガソリン	L	2023	322,893	95.1%	749.1
			2024	307,081		712.4
	軽油	L	2023	4,094	112.4%	10.6
			2024	4,600		11.9
	灯油	L	該当なし			
	水道	m ³	2023	162	37.7%	0.1
			2024	61		0.0
	二酸化炭素排出量合計	t-CO ₂	2023		95.7%	972.1
2024				930.1		

CO₂排出量(t)：小数点第二位以下 四捨五入

《プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量》
※産業廃棄物管理票（マニフェスト）を用いて前年度と今年度の排出量を記載（t）

	2023年度	2024年度
プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量	1,266.0	1,161.0

◆ トヨタホーム愛知株式会社

《環境活動取組事例》

1. ごみの分別と集積場の集約化

- ・ 本社内のごみ収集スペース：再生紙、ペットボトル、燃えるごみ、缶、ビン、段ボール、乾電池の分別。
- ・ ペットボトルキャップ、文房具、使用済み切手などごみの分別と資源ごみや寄付品を一ヶ所に集約。



2. プラスチック製品の削減

- ① お客様用ビニール手提袋をLIMEX社製の石灰石を主原料とした製品に変更。手提袋の取手部分をプラスチック製から紙製に変更。
- ② 「お客様用打合せ議事録ファイル」をプラスチック製から紙製に変更。プラ製クリアファイルを、LIMEX社製の石灰石を主原料とした製品に変更。



①



②

3. エコバックの活用

- ・ 営業スタッフが資料を持ち運ぶための紙袋の使用を禁止しエコバックを作成。本社と安城(営)に、買い物等で使用できる「共用エコバック」を設置。



4. その他活動（環境・社会貢献）



ペットボトルキャップの寄付



「緑の募金」による森林整備・緑化推進



PEEF認証のあるコピー用紙の使用



エコマーク有の文房具購入



使用済みカイロの寄付



使用済み文具のリサイクル

◆ 愛知クレジットサービス株式会社 (主な業務：自動車ローン 対象拠点数：1)

EA21環境経営取り組み項目		単位	年度	使用量	対前年	CO ₂ 排出量 (t)
二酸化炭素 排出量の削減	エネルギー使用量（原油換算値）	kl	2023	12	158.3%	
			2024	19		
	電気	kWh	2023	40,778	172.2%	17.3
			2024	70,240		28.2
	都市ガス	m ³	該当なし			
	LPG	m ³	該当なし			
	ガソリン	L	2023	1,898	81.2%	4.4
			2024	1,541		3.6
	軽油	L	該当なし			
	灯油	L	該当なし			
	水道	m ³	該当なし			
	二酸化炭素排出量合計	t-CO ₂	2023		146.5%	21.7
2024				31.8		

CO₂排出量(t)：小数点第二位以下 四捨五入

《プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量》
※産業廃棄物管理票（マニフェスト）を用いて前年度と今年度の排出量を記載（t）

	2023年度	2024年度
プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量	—	—

◆ 愛知クレジットサービス株式会社

《環境活動取組事例》

1. 「廃棄物の適正排出」

- ・ ATG西館では、回収箱の統一を行い分別表示を実施。仕分けし易い環境に改善。
- ・ また、ATG西館4階の紙資源回収場所に台車を設置して、4Sを実施し易くした。



2. 「フロン排出抑制法」の対応

- ・ 業者によるエアコン点検
- ・ 法令に基づき業務用エアコンの簡易点検の実施。
(6月・9月・12月・3月に点検実施)

3. 「清掃活動」の実施

- ・ グループ統一清掃活動の一環として、ATG西館周辺のごみ拾いを、毎月第2週の金曜日に実施。



◆ トヨタ情報システム愛知株式会社 (主な業務：システム開発 対象拠点数：2)

EA21環境経営取り組み項目		単位	年度	使用量	対前年	CO₂排出量（t）
二酸化炭素 排出量の削減	エネルギー使用量（原油換算値）	kl	2023	231	97.8%	
			2024	226		
	電気	kWh	2023	723,088	93.1%	306.6
			2024	673,326		270.7
	都市ガス	m³	2023	34,389	119.5%	76.7
			2024	41,093		91.6
	LPG	m³	該当なし			
	ガソリン	L	2023	6,995	92.5%	16.2
			2024	6,469		15.0
	軽油	L	該当なし			
	灯油	L	2023	0	0.0%	0.0
			2024	10		0.0
	水道	m³	2023	3,598	105.2%	1.9
			2024	3,785		2.0
	二酸化炭素排出量合計	t-CO₂	2023		94.5%	401.4
			2024			379.3

CO2排出量(t)：小数点第二位以下 四捨五入

《プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量》
※産業廃棄物管理票（マニフェスト）を用いて前年度と今年度の排出量を記載（t）

	2023年度	2023年度
プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量	2.0	2.3

◆ トヨタ情報システム愛知株式会社

《環境活動取組事例》

1. 「ATG環境ガイドライン」の遵守

- ① ATG 環境教育冊子の活用による社員教育。
- ② 環境マネジメント推進ツール「EMS運用・記録/保管ファイル」の活用。

①



②



2. フロン排出抑制法への対応点検

- ・業務用エアコン：定期点検 6月 実施 / 簡易点検 9月 3月 実施



エアコン室外機

3. その他活動（環境・社会貢献）

- ① 「まちなかクリーンデー」清掃活動：毎月第二金曜日に実施。
- ② 「再エネ指定の非化石証書」による自販機の稼働時間分のCO₂排出量が実質ゼロとなる自動販売機を1台増設。（既設2台 1台増設 計3台設置）
 - ▶ 自動販売機1台設置につき、1本の植林が行われる（CO₂削減量の証書が届く）

①



②



CO₂削減量 証書

◆ 株式会社 A T ビジネス (主な業務：間接業務 対象拠点数：6)

EA21環境経営取り組み項目		単位	年度	使用量	対前年	CO ₂ 排出量 (t)
二酸化炭素 排出量の削減	エネルギー使用量 (原油換算値)	kl	2023	437	93.8%	
			2024	410		
	電気	kWh	2023	1,532,500	91.9%	680.4
			2024	1,408,524		690.2
	都市ガス	m ³	2023	2,736	158.3%	6.1
			2024	4,330		9.9
	LPG	m ³	2023	5,840	100.7%	17.5
			2024	5,880		17.5
	ガソリン	L	2023	28,862	111.5%	67.3
			2024	32,179		74.7
	軽油	L	2023	891	90.1%	2.3
			2024	803		2.1
	灯油	L	2023	6,686	99.5%	16.6
			2024	6,654		16.6
	水道	m ³	2023	8,831	92.9%	4.8
			2024	8,206		4.1
	二酸化炭素排出量合計	t-CO ₂	2023		102.5%	795.0
			2024			815.1

CO₂排出量(t)：小数点第二位以下 四捨五入

《プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量》
※産業廃棄物管理票（マニフェスト）を用いて前年度と今年度の排出量を記載（t）

	2023年度	2024年度
プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量	390.4	499.0

◆ 株式会社 A T ビジネス

《環境活動取組事例》

1. 「廃棄物適正処分」の促進

● 廃棄物分別の徹底強化

① 廃棄物についてのニュース投稿

- ・事業者が排出する廃棄物は、「資源化できる/資源化できない」ごみに分別する義務があることを、経営会議での説明や社内ポータルのニュース記事として投稿し、周知を図った。

② 白金事務所の廃プラスチック分別の実施

- ・(株)トランサットと協力し、適正な分別処理が行えるように改善。社員が分別した廃棄物を、産廃業者が回収時にひとまとめにしていたため産廃業者へ適正に廃棄物の引き取りを行ってもらえるよう依頼。

③ ごみ箱への分別ラベル表示貼付けの実施

- ・ごみ箱に表示していた「燃えるごみ」から「資源化できるごみ・資源化できないごみ」に表示を変更。社員が分別に迷わないよう、具体例を示したラベルをごみ箱に貼付け、誤廃棄の防止に繋げた。



2. 「危険物保管量チェック」の実施

- ・車両総合センターにおける危険物（引火性液体等）の保管量チェックを実施。工場や少量危険物庫など、保管規定量を超過していないか再チェックした上で、使用・保管の社内ルールを再構築し、危険物保管量基準違反が起きないように法令遵守の徹底を図った。

3. 「グループ合同法令勉強会」への参加

- ・グループ合同の法令勉強会に事務局担当者が参加し、労働安全衛生法・消防法・廃棄物処理法などの知識を学習した。現場チェックをする際に習得した知識を活かして、作業現場での正しいオペレーションが実践されているか確認しながら、従業員と作業環境のリスク防止に努めた。

◆ A Tグループ健康保険組合 (主な業務：社会保険業務 対象拠点数：1)

EA21環境経営取り組み項目		単位	年度	使用量	対前年	CO ₂ 排出量 (t)
二酸化炭素 排出量の削減	エネルギー使用量 (原油換算値)	kl	2023	37	100.0%	
			2024	37		
	電気	kWh	2023	107,325	100.2%	45.5
			2024	107,496		43.2
	都市ガス	m ³	2023	3,826	88.5%	8.5
			2024	3,387		7.6
	LPG	m ³	該当なし			
	ガソリン	L	2023	2,458	128.3%	5.7
			2024	3,154		7.3
	軽油	L	2023	3,407	105.3%	8.8
			2024	3,587		9.3
	灯油	L	該当なし			
	水道	m ³	2023	899	104.9%	0.5
			2024	943		0.5
	二酸化炭素排出量合計	t-CO ₂	2023		98.4%	69.0
			2024			67.9

CO₂排出量(t)：小数点第二位以下 四捨五入

《プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量》
※産業廃棄物管理票（マニフェスト）を用いて前年度と今年度の排出量を記載（t）

	2023年度	2024年度
プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量	0.5	0.6

◆ A Tグループ健康保険組合

《環境活動取組事例》

1. ATG環境ガイドラインの遵守

- ① 自主チェックの実施：フロンガス簡易点検記録簿の運用・実施
- ② ATグループ CSR EMS作成の環境マネージメント推進ツールの活用

2. エネルギー使用量（電気・ガス・水道）とCO₂排出量の把握

- ・環境ポータルを使用してのエネルギー使用量の管理



3. 「一般廃棄物削減」のための資源化対策（古紙の100%資源化）

- ① 機密文書回収BOX・資源ごみ回収BOXの設置と運用
- ② ごみの分別表の掲示（雑がみ分別表・リサイクルできない紙類と異物）



4. 「廃棄物（産廃・一廃）」の分別廃棄および排出量の把握

- ・可燃ごみ・プラスチック・ペットボトル・医療廃棄物（注射針）専用回収箱設置



5. 省エネルギー対策

- ① 「節電」「節水」プレートの掲示
- ② スイッチ付き電源タップの設置
- ③ 社用車：HEV / アイドリングストップ車



6. その他活動

- ① 「まちなかクリーンデー」健保会館周辺の清掃活動
- ② 「応援定期」によるこどもの自立支援活動（応援定期預金の積み立て）

